



5年生学級活動の授業

本日8日(月)は、5年1組で学級活動の授業がありました。今回の授業は、「『わくるん集会』をしよう」という議題でした。子供たちは、集会活動を「わくるん集会」と名付け、話し合いに臨んでいます。今回は、学級目標の「友達を信じて助け合う」に近づくための話し合い活動を行いました。提案理由には、「『わくるん集会』を行うことで、友達と助け合うことができ、学級目標の「友達を信じて助け合う」にもっと近づけると思っています」という話し合いの理由が示されました。



今回の授業に臨むにあたり、司会グループの子供たちが、事前に「助け合う」活動はどんなものがあるのかを、学級の子供たちに聞いて、たくさんのアイデアの中から原案を絞り込むところからはじめました。司会グループが「友達を信じて助け合う」ことができる遊びを「ことろことろ」「風船チャレンジ」「王様ドッジ」「目かくし歩き」「フラフープダウン」に決め、そこから何がいいかを比べ合う場面から授業は始まりました。子供たちは「『ことろことろ』がいいと思います。理由は『ことろことろ』は友達と助け合うことができるからです。」など友達と助け合う場面をイメージしながら、意見を比べ合うことができました。また、「『目かくし歩き』と『フラフープダウン』は、合わせると助け合うことができます。」など合わせる意見も出ていました。このように、今回の授業の中でも、友達と助け合うような集会に向けて、提案理由を切り所として友達の意見と比べ合う場面をたくさんみることができました。そして、折り合いをつけながら話し合って決まった集会の内容は「風船チャレンジ」と「目かくし歩き・フラフープダウン」でした。そもそも、この折り合うという行為は、中々難しいのです。大人の社会でも、折り合うことが難しいので、人間関係を築く上でトラブルを起したり、国と国の間では紛争にまでなったりします。しかし、話し合うことを全員が共有しながら意見を出し合って意見と意見を比べ合うことで、「納得」や「我慢」をしながら折り合っていくようになるのです。そして、反対していても決まったことに向かって全員で取り組んでいくのです。

本校は子供たちの合意形成による話し合い活動を大切にしています。今回の話し合いで決まった「風船チャレンジ」「目かくし歩き」は、5年1組の子供たちもみんな役割を分担して準備して実践していくことでしょう。そして、学級目標の「友達と助け合う」姿に近づいていくと思います。

今回の学級活動の授業について、子供たちが帰った後に、全職員で授業研究会を行いました。職員一人一人が授業への疑問を出し合ったり、改善点を述べ合ったりしました。今回も、子供たちと職員とで帯西グリーンの心を高める方法について、しっかり考えることができる研究授業となりました。話し合いの積み重ねが、次の学年へと繋がります。また、その積み重ねが委員会活動や代表委員会などの子供たちの自主的な活動へと結び付き、帯山西小学校をより豊かで、自主的な学校へと変えていくのです。

今回の授業は5年部で共有しながら取り組んでいくそうです。5年1組の皆さん、貴重な学級活動の授業を共有させていただき、ありがとうございました。